

# 中期の受講生募集

7月2日から一般販売

● 発売日のみ  
窓口9:00から/電話予約10:00から

講義期間：2019年9月～11月 ※日程・講師・会場・内容は都合により変更する場合があります。

お申込方法はオモテ面に→

## シリーズ「ヨーロッパの現代史」 第二次世界大戦とヨーロッパII

東京大学名誉教授 木畑 洋一  
東京大学名誉教授 柴 宜弘

9/4, 11, 18, 25  
10/2, 9

(水) 10:00～12:00

9,600円 (消費税込み) 全6回

この中期では、第二次世界大戦を勝利に導いた連合国側が、戦後世界の秩序をめぐり次第に立場の違いを表面化させ、戦後処理問題をめぐって対立する時期を中心に講義を進める。ドイツの占領下で多大な人的・物的犠牲を被った東欧諸国の多くは、ソ連軍によってドイツからの解放を成し遂げ、親ソ的な連立政権を樹立した。ヨーロッパが分断される前夜の諸問題を検討する。

## シリーズ「今日から明治維新を捉えなおす」 「大事件」からみる明治維新

国立歴史民俗博物館 元館長  
東京大学名誉教授 宮地 正人

9/5, 12, 19, 26  
10/3, 10

(木) 14:00～16:00

9,600円 (消費税込み) 全6回

「今日から明治維新を捉えなおす」とのテーマで始まったこの講座は、「総論」で講師の考える変革過程の概略を述べ、以後、薩摩、長州、土佐、関八州、女性、「夜明け前」地域という縦割りの形で語ってきた。しかし、縦割りの形では、多くの歴史事象を欠落せざるを得なかった。そこで、1840年のアヘン戦争に始まり、1881年の国会開設の詔勅で一段落する変革の拡大的連続を、全国的視野に立ち、横断的に把握してみたい。

## 春雨物語を読む ～天津処女～

二松學舎大学特別招聘教授  
東京大学名誉教授 長島 弘明

9/6, 13, 20, 27  
10/4, 11

(金) 10:00～12:00

9,600円 (消費税込み) 全6回

『春雨物語』は上田秋成の作品で、同じ著者の『雨月物語』と並んで江戸時代小説を代表する傑作です。その第二話「天津処女(あまつおとめ)」は、仁明(にんみょう)天皇の寵臣で、色好みの良峰宗貞(よしみねのむねさだ)が主人公です。帝の死後、剃髪して朝廷から姿を消した宗貞は、小町との歌の贈答がきっかけで捜し出され、朝廷に戻り、後には僧正位にまで登りました。その宗貞の不思議な運命の話を読んでいきましょう。

## アメリカ合衆国を知る

千葉大学名誉教授 秋元 英一  
城西大学元教授 庄司 啓一

9/11, 18, 25  
10/2, 9, 16

(水) 14:00～16:00

9,600円 (消費税込み) 全6回

世界の政治・経済・文化を牽引してきたと言われているアメリカ合衆国。ところが、トランプ大統領の登場によって、自国第一主義が広まるなど米国は勿論、世界が大きく変わろうとしている。アメリカは果たしてどこへ行くのか、日本をはじめ、世界はどうなるのか?この問題を解きほぐすには、まずアメリカの歴史、社会、経済、文化を正確に系統的に知る必要がある。そこで、日本を代表するアメリカ研究の第一人者を講師に招き、1年間かけてアメリカ合衆国の真実を探る。中期は、アメリカの経済と移民問題について検証する。

## 紫式部日記を読む

フェリス学院大学名誉教授 三田村 雅子

9/12, 26  
10/10, 24  
11/7

(木) 10:00～12:00

8,000円 (消費税込み) 全5回

『源氏物語』の作者紫式部は、『源氏物語』の他に『紫式部日記』と『紫式部集』を残しました。いづれも作者のプロフィールを知る上で重要な作品ですが、特に『紫式部日記』は『源氏物語』の「作者の日記」として、作品との関わりをうかがい知る重要な作品です。人名や、品名が羅列されて、ややとっつきにくい文章ですが、じっくり読むと創作者の苦悩と喜びがまざまざと見えってきます。『紫式部日記』の栄光と、葛藤を明らかにしていきたいと思えます。

名場面で読みとおす

## 源氏物語五十四帖

夕霧～竹河

跡見学園女子大学名誉教授 神野藤 昭夫

9/13, 20, 27  
10/4, 25

(金) 14:00～16:00

8,000円 (消費税込み) 全5回

光源氏の生涯はどのようなものであったか。その晩年の姿をおして、読者は彼の人生を捉え直すことになる。そして、彼が姿を消してからの後の世界は、したいに宇治十帖の物語へと接近してゆく。今回は、夕霧・御法・幻・匂兵部卿・紅梅・竹河の名場面をつないで、物語を大きく深く理解したい。テキストは事前配布。量子訳をも参考に付す。

## 大宰府の『万葉集』

「令和」の元号をめぐって

東京大学名誉教授 多田 一臣

10/18, 25  
11/1, 8, 15, 22

(金) 10:00～12:00

9,600円 (消費税込み) 全6回

新元号「令和」が、大宰府・大伴旅人の「梅花の宴」の序を出典としていることは、すでに広く知られたところである。この講義では、まず「梅花の宴」についてお話しし、その上で、大宰府における和歌世界のありようについて述べてみたい。大伴旅人と山上憶良が話題の中心になる。元号とは何であるのかについてもお話ししたいと思っている。準備等は一切不要です。気楽に受講なさって下さい。資料は配付します。

## 芸術に親しむ

～レクチャー&コンサート～

10/23, 30  
11/6, 20, 27

(水) 14:00～16:00

8,000円 (消費税込み) 全5回

音楽の第一線で活躍するアーティストが、様々な分野で練り広げる芸術を直接語りかけるレクチャーとコンサート。今回は、様々な楽器に加え、初めて現役の作曲家が登場!会場は6階、スタジオ1です。

- ①10月23日=ヨハン・シュトラウス2世の魅力:宮川正雪
- ②10月30日=津軽三味線の魅力:紺谷英和
- ③11月 6日=アルパの魅力:池山由香
- ④11月20日=ドゥドゥクの魅力:樽見ヤスタカ
- ⑤11月27日=和音の魅力:日高哲英

## 平家物語の人物を読む

～名将の光と影-源義経VIII～  
名将悲運-判官都落ち、そして奥州へ

千葉大学名誉教授 栃木 孝惟

11/1, 8, 15, 29

(金) 14:00～16:00

6,400円 (消費税込み) 全4回

今回は、『平家物語』が記す名将源義経の物語の最終部、頼朝の密命を受け、上洛、義経を襲うも敗れ、殺された土佐房正(昌)後の事件以降、ついに都にあることを断念、鎮西行を志し、都落ちを決意する義経の動向、そして、鎮西行き途次、名高い大物(だいまつ)の浦の遭難から吉野に遁れ、奥州を目指すた、悲運の名将義経の逆境を生きる種々相を見つめる。